

# ふれあい

## 南山城ブロック研修会に参加しました。



平成23年11月26日(土)八幡市文化センターで開催された「平成23年度京都府立学校PTA指導者研修会(南山城ブロック)」へ本校からは8名が参加しました。全体テーマ「家庭・学校・地域社会の連携で心豊かな青少年の育成を!」「生きる力、人を思いやる心、心の教育を家庭から」のもと、会場には10高等学校<sup>147名</sup>、4支援学校<sup>36名</sup>の183名という多くの皆さんが参加されていました。

京都府吹奏楽コンクールで2年連続金賞の京都八幡高校吹奏部の迫力ある演奏で開会され、同校の演劇部による「やわた家の食卓 子どもの進路決定に向けて」をテーマによる演劇を通して11グループ別討議がありました。会長さんの司会、役員さんの記録、渡部校長先生の助言で1グループを担当しました。他のグループでも通学高等部の進路決定に向けて家庭での話し合いや励まし等について意見を発表しました。貴重な意見が多く出され、学校行事の中でPTAの取組をすることや、保護者のニーズや一致点を大切にして取り組むことで参加数が多くなってきたという発表など、参考になる意見をたくさん聞くことができました。

午後からは第三分科会「特別支援教育とPTA」で南山城支援学校の実践発表・研究協議に参加しました。

特に地域の中で豊かに生活できることを目指して毎年取り組んでいる「校区各校PTAとの交流会」は、小中高等学校PTAの皆さんがたくさん参加し交流の輪が広がっているという発表は、本校PTAの今後の活動に活かしていきたいと感じました。

いろいろな機会に研修会の内容をPTAの皆さんにお知らせして、来年はさらに多くの皆さんに参加していただければと思います。参加いただいた皆さん本当にご苦労さまでした。



## 全病・近病和歌山大会に参加して

第52回全国病弱虚弱教育連盟研究協議会、第47回近畿・東海・北陸地区病弱虚弱教育連盟研究協議会が和歌山県で同時開催され、本校からはPTA会長をはじめ、校長、各先生方が参加しました。

今回は温泉で有名な南紀白浜を会場に11月10日(木)11日(金)の2日間開催され、会長は初日午前中PTA分科会、午後からは発表重度・重複分科会に参加し、本校の先生の発表を聞かれました。

PTA分科会では「地域に発信するPTA活動〜共生社会をめざして〜」「地域学校としての新たな出発」のテーマで2校から報告がありました。



在籍する子ども達に対するボランティア活動から地域小中学校との交流活動に発展し、病気や障害のある子ども達が地域でいきいきと暮らす「共生社会」の実現を目指している活動例や、研修会や施設見学会、地域や社会にアピールする活動を通して会員が積極的に活動に参加するようになった実践報告でした。

役員の出発や活動の継続性、同窓会の立ち上げ、地域との共生など多くの課題はあるものの、前向きに取り組まれていく様子は本校のPTA活動にとって参考になる内容でした。

午後からは、本校先生の実践発表がありました。重心教育部の子ども達に対して、光や色使いなどを工夫することにより子ども達がいきいきと活動する授業の様子が先生から報告されました。

F先生からは子ども達が自分のストレスのパターンを知り、その対処法を学ぶ自立活動の時間の「ストレスマネジメント」の発表がありました。

9月の台風で洪水が発生し深刻な被害を受けた奈良県と和歌山県にまたがる紀伊半島でしたが、復興に向けて着々と進んでいる様子も取り上げられました。

被災者のみなさんが明日の希望を持って暮らせる日が1日でも早く来ることを願うなら帰路につきました。



## 体育大会の感想

2年生が中心となる体育大会で、白組の団長として不安があったけど、精一杯頑張ることができました。エール交換では、練習の時に1年生、3年生、病弱教育部の人たちに教えるのが、すごく大変だったけど、みんな協力してくれて早く振り付けを覚えてくれてホッとしました。本番では白組が一致団結して最後まで演技をして、お客様に拍手をもらって本当にうれしかったです。

最後の色別対抗リレーでは、みんな必死で頑張っていて、アソカ君がゴールして優勝が決まった時には、うれしくて泣きました。

みんなありがとうございました。

白組団長 A

赤組団長 B

体育大会で初めて団長をして、エール交換がとても緊張したけど、練習を含めて最後まで頑張りました。病弱教育部の人たちと一緒にエール交換の練習をしてきましたが、本番は皆、一生懸命協力してくれて、やりきることができたのでうれしかったです。

赤組は綱引きは勝つことができたけど、それ以外は残念な結果となってしまいました。でも、皆、キャタビラリレー、クラス対抗リレー、エール交換、綱引き、よさこいをしっかりと頑張ってくれました。

とてもいい思い出ができました。皆さん、協力してくれてありがとうございました。

## 学発について〜ボンゴとぼくの物語〜

病弱教育部 中1

ぼくは、ボンゴをたいた。それは初めてのボンゴとのふれあいだったのだ。最初はぬるぬるして、心を通わせられなかった。だが、どんどんボンゴとの練習を積み重ね、本番を迎えた。ぼくは緊張したが、ボンゴも緊張したと思う。本番、ぼくとボンゴは心をつなげていた。心をつなげたのは、周りのみんなが楽器と心を合わせたからだと思う。

終わって、ボンゴを音楽室に持っていった。ボンゴをもう少したたきたかったと、ぼくは思った。いつか使うときが来るだろうか。

本番が来る前、3年生音楽の授業があり、1年生は美術だった。テキーラのリズムが流れ出すと、いつも「テキーラ」と言っていた。その日は聞いているうちに、ぼくの他にだれかがボンゴをたいていることがわかった。美術の授業が終わる10分前に、担任の先生が美術室の前に来た。先生がボンゴをたいたっていたのだ。音楽の先生はその時「変だった。」と言っていたらしい。ぼくも先生と同じ意見だった。ぼくは一瞬ボンゴがかわいそうに思えた。そのとき、美術が終わった。音楽室に行くと、「一回だけテキーラを演奏させてください。」と言った。OKをもらえた。先生にどっちがよかったか聞いた。ぼくの方を選んでくれた。ぼくはこう思った。「ボンゴとぼくの心が一つになっていったからだ。」

学発が終わると、とうとう別れが来てしまった。ぼくはボンゴを「いつかまたたきたい。」と思いついて、ボンゴも「またたかれない。」と思いついて、と信じている。ぼくは、「ボンゴをまた、いつの日かたたく。」と決心した。

## PTAバザー 大盛況

去る11月3日(祝・木)学習発表会1日目に、恒例のPTAバザーが開催されました。保護者の皆様や教職員、さらには、京都府病院関係者の皆様からも御協力いただき、例年以上にたくさんの物品が集まりました。当日は祝日ということもあって学習発表会への参観者も多く、バザー開催時間中も人出が途絶えることなく大賑わい、大盛況のうちに終了しました。PTA役員をはじめバザー担当の皆様、たくさんのお品を提供、購入いただいた皆様、御協力ありがとうございました。以下はバザー担当の役員の方々の御感想です。

今回初めてバザー販売をしました。今年は昨年より多くの物品が集まったらしく、値段決めの際にも役員会に参加されたお母さんたちや先生方と共に購入者の気持ちになり、「いくらぐらいなら買ってもらえるかなあ。」と相談しながら値段を決めました。当日はたくさんのお客様に来てもらえて大成功に終わったかのように思います。短い時間でしたが、販売もでき、いろいろな人達と関わりがもてた事とてもよかったです。また、行事で参加できることがあれば参加したいです。

多くの方々の御協力もあり、バザーを無事終えることができ、ホッとしています。当日はたくさんのお客様が来てくださり本当に良かったです。中でも、自分が出した商品を気に入って買ってくださったのはうれしく思いました。レジで手間取ってしまい、お客様を待たせてしまうなど反省点も多くありますが、担当をして楽しい時間を過ごさせていたただき本当に感謝しています。

バザーの担当をしてPTA活動の楽しさや大変さがわかりました。集まった物品を種類別に仕分けし、値段を決めていきましたが、品物を出していただいた方や、買っていただく方のことを考えて決める時が一番難しかったです。バザー当日は参加されていた方々と交代でお店をみていたので、子どもの劇の発表や校内販売の様子も見ることができました。いろいろわからないことも多かったのですが、PTAの方々や先生方の御協力をいただき、無事終えることができました。ありがとうございました。

